関係人口創出事業



❶

関係人口とは、移住した「定住人口」でもなく、観光に来た一時的な「交流人口」でもありません。金山町に住んでいなくても、継続的な繋がりや関わりを持ち、金山町のファンとして町の活力となる存在を指します。はじめは金山町に縁もゆかりもなかった人々が、この事業を通して町を知り、いつしか「また来たい」「あの人に会いたい」と思える「ゆるさと」を目指しています。

関係人口サミット 9月13日

町中央公民館で、かねやま関係人口サミットが初開催され、これまで関係人口として金山町に関わってきた、東京都市大学生４名と過去４年間の金山微住参加者12名、デザインスクール関係者４名が活動報告を行いました。サミット後は懇親会が行われ、参加者同士が町の未来や思い出話に花を咲かせ、絆を深める温かなひとときとなりました。



❷


❸

❶関係人口サミットには町内外から29名、台湾から12名が参加。❷金山町を旅人の「ゆるさと（第三のふるさと）」にしたいと語る、「微住®」提唱者の田中佑典（たなかゆうすけ）さん　❸懇親会では東京都市大学生と台湾人が心を込めて手作りした料理やスイーツが振舞われました。

金山微住 9月8日～9月17日



❶


❷


❸


❹

❶❷❸❹町内の事業所や飲食店で、町民との交流を深める台湾からの微住者。金山への来訪が２～３回目となる過去の微住者たちも駆けつけ、町民と再会の喜びを分かち合いました。

金山町で４回目の開催を迎えた「金山微住」。今回は、台湾から新規の参加者７名と、過去に微住を経験したリピーター５名が金山町を訪れました。「暮らすように旅する」をコンセプトに掲げる本プログラム。参加者たちは、谷口銀山、くらし考房、ニラの収穫体験、林業見学、そば打ちなどを体験し、金山町で過ごす時間を楽しみました。

ライブデザインスクール 8月29日～8月31日

全国からデザイナー等17名が来町し、ライブデザインスクールを開催。「まち・人を知る」「営みと制度を紐解く」をテーマに町内でフィールドワークなどが行われました。最終日には「町の未来を考える」をテーマにプレゼン発表が行われ、町内の空き家活用や移住政策についての提案が行われました。


❶


❷


❸

❶❷❸８月31日のプレゼン発表に向け、フィールドワークを行う参加者。金山町の魅力や課題を分析し、解決に向けた提案をまとめました。